

# 花まるだより

2024  
11

Hanamaru  
Monthly  
Newsletter



2024年11月

## 自習の姿

「そんなの関係ねえ！」の小島よしおさんとAERA with KIDSの対談企画でお話ししました。ご存じのように、お笑い芸人でありながら、YouTubeを始め、いまや「おっぱっぴー」小学校の小島よしお先生」として大成功。どの地方に行っても子どもたちが大勢集まる教育界のスターなのです。初めてお会いしたのですが、謙虚で紳士、山積みの本には付箋がたくさん貼ってあるなど、努力家な一面がうかがえました。

沖繩の久米島生まれの千葉育ち。国政選挙に6度挑戦して全敗しながら落ち込まない父と、誰にでも話しかける人間好きで沖繩料理店を切り盛りする母のもと、クラスを笑わせる人気者の野球少年として育ちました。早稲田大学のお笑いサークルの5人のコントグループW.A.G.E.は、学生ながらにスカウトされプロとして事務所所属。卒業と同時に解散。彼一人が生き残って売れて、残り4人は手堅いサラリーマンになったのかと思いきや、全員業界に残っていて、音楽や脚本で頑張っていたり、2人は「かもめんたる」というコンビで成功しているなど、お笑いに賭けた青春群像も素敵で聞いていて楽しかったです。

おもしろかったのは大学入試での戦略。野球部の当たり前として一浪したけれど、

みんなと同じ予備校に行くと「小島あれやってくれよ」と芸を求められたり、遊んだりする。何より家にお金がない。そこで、皆が行く予備校とは駅も異なる予備校に決め、単科講座を一つだけ取って自習室利用の権利を手にして、みんなが授業を受けに行く時間もひたすら一人で勉強し「自習室のヌシ」と呼ばれていたそうです。

何でもなさそうですが、置かれた状況を嘆くのではなく、冷静に分析しそのなかの最善の作戦を編み出し実行している。18歳としては相当しっかりした青年であったことがわかります。

のちに、おっぱっぴーでブレイクしたは良いがすぐに追い風が消えたり、コロナで全員が「お客さんを集められない」という壁に当たったりしたときなど、彼は一瞬もウジウジすることはなく常に「じゃあどうしようかなー。よしこれをやってみよう！」と前向きにとにかく行動し続けた人人生であることがわかりました。本人は「雑草の魂」と呼んでいましたが、何かこれは現代の「すぐにメンタルをやられる世代」に必要な心構えのようにも感じました。

さて、じつと彼の話を聞いていて私の頭に浮かんだのは、「やはり自習を本当に主体

的にやれる人って、成功者に多いのかもしれない」ということです。それはある2人の前例について、もともと心にひっかっていたからです。

一人は、Hくん。我々のバンドKSRINBAのピアニストにして、建築の世界に道を決めてからはひたすらに精進して、一昨年、環境建築の世界最大のASHRAE Technology Awardで世界一になった男です。彼はもとも私の教え子のTくん（彼は彼でいまやシンガポールで国際的な企業の社長です）の友人として、高校時代にスクールFCの自習室にだけ来ていました。本当に時々教える程度で、交わすのはほぼ雑談だったのですが、妙にウマが合い、何よりも鑑賞に行った吹奏楽部の演奏のなかで、フルートを独奏するHくんの姿に才能の輝きを見出して、彼の大学進学後に一緒にピアノを教えるもったりバンドを始めたりました。

もう一人は、Kさんという女医。中学時代にできたばかりのスクールFC新松戸校の自習室にだけ来ていた子でした。真面目で私語もなくひたすらに勉強できる子だったので、筑波大の医学部に現役合格し、サマースクールのリーダーとして参加してくれたり関係は続いていたのです。そし

## 新刊情報

## 『マンガでわかる！10才までに覚えたい社会のしくみ』

—政治・経済・生活・国際・SDGs—

高濱 正伸／加藤 崇浩 監修  
(永岡書店)

「マンガでわかる！10才までに」シリーズに、「社会のしくみ」が登場！

『お金ってなんだろう？』（お金のしくみ）

『働かなくてもお金って増やせるの？』（投資のしくみ）

『国会ってなにをしているところ？』（国会のしくみ）

『選挙のしくみってどうなっているの？』（選挙のしくみ）

『世界遺産ってだれが決めているの？』（ユネスコのしくみ）

『SDGsってなんのこと？』（SDGsのしくみ）

笑いながら社会のしくみがわかり、知識が身につく学習マンガです。



## 『『エミール』を読む』

苦野一徳 著  
(岩波書店)

高濱の本棚



教育をなりわいとするならば、とにかくにも『エミール』を読めと、若い教師や塾講師の志望者に長年語りかけてきた。人間世界への理解が深く、全文コピーライターが書いたのかというくらいキャッチーでおもしろいのだが、非常に量が多く少々表現がわかりにくい面もあり、実際にはなかなか読み通せない人がほとんどだろう。本書は深く正確に読み込んでいる哲学者が、初学者にもわかりやすく案内してくれている。多くの人から長く愛される一冊になるのではないかな。

て数年たって気づいたら、精神科医として国立精神・神経医療研究センターや東京大学で働いたり、本を書いたり、大手のサイトで有名な教授たちと対談形式で議論していたり、科学雑誌Newtonの「発達障害の脳科学」や「精神の病気」の特集で、監修を担当していたりするなど大活躍を続けています。女性の出産や子育てというライフイベントと仕事の理想的両立という意味でも注目されています。そして、何よりも私のブレインになってくれています。私は現場での経験と子ども世界のエピソードでしか語れないのですが、彼女はちゃんと講演会のアーカイブ配信などを聴いたうえで「高濱先生が動画のなかでおっしゃっていることは、認知行動療法で言うところのことと本質が同じなんですよ」というように、たびたび献身的に教えてくれるのです。

このひと際突き抜けた活躍をする2人の「自習室」という共通項は、いつも頭のなかにあったのです。そして小島よしおさんの自習室利用のお話。私は「ほら来たー」という気持ちで聞いていました。

彼らに共通するものは何でしょうか。「私はみんなのようにお金がない」と嘆くのではなく、「いま自分にできる最大の効果を期待できる戦略はこうだ」と前向きに自習室利用を位置づけている。「あの授業はおもしろくない」とか「あの先生はだめだ」とか誰かのせいにして言い訳したりしない。

い。なんとなくボケーっと勉強時間を過ごすのではなく、本当に自分の頭に知識が定着されているかどうかこそをいつもちゃんとモニターしていて、形骸化した時間をひとときも過ごしたくないと思っている。つまりは起きて活動している時間を常に「意味あるもの」にしようと努めている。

やらされ感でなく、他人と比べないで自分の最高の戦略に集中し、人目を気にせず、自分(本当に頭に入ったか)に集中する。何よりも方針が主体的決定に基づいている……。いま講演会で社会人や学生相手に語っている「幸せの要件」にすべて合致しています。もちろん授業にも意味はあるのですが、自習室の過ごし方は、どうやらその後の人生を楽しく活躍できるものにする入場券のようなものにも思えてきます。普通は中高生、早くてもせいぜい6年生くらいから実現の可能性がありますが、「自習に本当に集中しはじめたら、合格が近づいているだけではなく、人生の成功を手に入れようとしているのかもしれない」ということは、保護者として持つていてよい視点に思えます。どうお感じになりますか？そして、保護者のみなさまご自身は、どのような自習経験がありますか？

花まる学習会 高濱正伸



『小島よしおのボクといっしょに考えよう』  
小島よしお 著  
(朝日新聞出版)



小島よしおさんとの対談が掲載されている「AERA with Kids 冬号」は12/5発売予定です。

### 感染症の予防についてご協力をお願い

日頃から、感染症対策にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。寒さが厳しさを増す季節となりました。空気が乾燥し、気温が低くなる冬期は、新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルスによる胃腸炎、マイコプラズマ肺炎等、さまざまな感染症が流行する時期です。くれぐれも体調にご留意いただくとともに、感染症対策にご協力くださいますようお願い申し上げます。

- ①手洗い・うがい、手指消毒を徹底してください。
- ②発熱や体調不良がみられる場合は、通塾をお控えいただくとともに、かかりつけ医等の受診を推奨いたします。
- ③お子さまが通われている園・学校で、休校・学級閉鎖・学年閉鎖等の措置が取られた場合は、担当教室長までお知らせいただくとともに、通塾をお控えください。
- ④通塾の可否について判断に迷われる場合は、かかりつけ医等、医師の指示に従ってください。
- ⑤インフルエンザ等の予防接種をお受けになることを推奨いたします。

教室で元気な子どもたちや保護者のみなさまにお会いできることを楽しみにしております。何かお困りの際は、お気軽に教室長までご相談ください。

### 花まるだより 2024年11月号

(令和6年11月15日発行)

編集・発行 株式会社こうちゅう  
花まる学習会

発行人 高濱正伸

企画・編集 久慈葉津紀・生井ちま  
編集 金井彩・清田奈甫  
坂田翔・高橋奈穂・平山真康

デザイン 春日梨沙・西野奈布子  
印刷 アークランド株式会社

高濱が、花まるの教室長をちょっとおちゃめに紹介するこのコーナー！「タカタコ」は、高濱による他己紹介で教室長を深掘りします。2024年度のテーマは、「私の母」。各教室長が実際に自分のお母さんや家族に改めてインタビューした内容を、高濱がまとめました。



子どもたちの声をお届け！

## サマースクール

# 作文コーナー



サマースクールの最終日に子どもたちが書いた作文をご紹介します。旅の始まりのドキドキ、遊びのこと、仲間のこと。自分の心のなかにある一番ほかほかしたものを、自分の言葉で綴ります。

バスのなか

二年生 ひかりちゃん

かんえつトンネルを出たあと、にいがたのけしきが見えました。山がたくさんありました。みどりがたくさんで、きれいでした。バスが少しすすむたびに、けしきが変わりました。かわるのがおもしろくて、ずっとそこを見ていました。やどにつく前に、上野公園のことを思い出しました。

けしきが変わった感じが良かったです。やどにつくのがたのしみでした。

わくわくアドベンチャー

かじか

二年生 えりさちゃん

わたしは、かわでかじかをみつけました。みんなも、かじかをつかまえたかったです。けれど、このかじかはよわっていたから、わたしはがしてあげました。そうしたら、三かいめかわってきたとき、かじかが十びょうくらいついでてくれました。わたしはびつくりしました。かじかはうれしそうに、水をびちゃびちゃしながらかえっていきました。わたしはうれしくなつてよろこびました。かじかはかわいくて、わたしはそのときのことをのこして、ゆめにもかじかはでました。わたしはかじかがおよぐのをみるのが大好きです。かじかも、およぐのがすきそうです。かじかはおよぐのがとくいです。

わくわくアドベンチャー

大切な仲間とリーダーたち

四年生 りくくん

ほくはサマースクールのことが全部心にとりました。そのなかで一番心にひびいたことは、仲間とリーダーたちです。この三ばく四日のサマースクールの中でお母さんやお父さんと弟と犬にすぐく会いたくなつてしまふことがありました。でも、そんなときも、仲間とリーダーたちがさえてくれたからこそ、このサマースクールのすべてを全力で感じて、全力で楽しめたんだと思います。最初はきんちようしていでしゃべれなかつたけれど、いまではリーダー全員と仲間全員が、大切に、大好きな人たちに変わりました。ほくは、この四日間が短くても心には一生忘れない大切な時間です。

わくわくアドベンチャー



私の母は、市川市出身。兄3人姉3人の末っ子として、愛情をたっぷり受けました。7人きょうだいがいみんな仲良しで、いまま江戸川の花火大会は全員の家族が集まって観ます。温かい家族で育ったせいでしょうか、他人を否定することがなく、私の人生の節目節目の決断もいつも肯定してくれたし、嫁(私の妻)との関係も絶好調で、私抜きで妻と息子だけで実家に泊まりに行ったりします。|| 宮坂太久哉・やみ〜

きちづくり  
 一年生 あんちゃん  
 きちづくりで、わたし  
 はかべをつくりました。  
 わたしはちくちくしてい  
 たり、つるつるしていた  
 り、たまにはかちかちし  
 ているえだをえらびまし  
 た。きちづくりはたのし  
 かったです。またひみつ  
 きちにいきたいです。

秘密基地作りの国



無敵の風船

三年生 ちひろくん

一日目のサムライ合戦で、一回で八分なのに、それが四回つづきました。そして、戦っていると、だんだん汗びっしょりになってきて、油断してしまい、つい、相手のチームに何回も風船をたたかれてしまいました。でもぼくの風船は、われませんでした。ほくがふくらませた風船は、愛情をこめてふくらませたから、われなかつたんだなと思いました。

サムライの国



つないで、つむいで

四年生 たいちくん

ついに、サムライ合戦が始まった。一戦目は、僕はやられてばかり。でも、ピカソや仲間たち、サンドがいたからとても安心できた。それが不安をかき消していってくれた。僕がやられて、ほかの人もやられ始めた。そのとき、僕はとても不安になった。その後、サンドまでやられてしまった…。二戦目になり、前回とほとんど同じだったが、前より、一歩前進していた。三戦目も、四戦目も、一歩前進していたのはよかったが、ほとんど同じだった。そして、一日目が終わった。

次の日になったら、気持ちよく、ふとんをたたみ、朝ごはんを食べ、歯磨きをした。そして、バスで合戦場へ行き、一旦休けいしてから、戦いが始まりそうだった。

実は、班のリーダーたちは、夜、軍議をしていた。一つ目は、「タシロー」とだれかが言ったら、サンドのもとへ行く作戦。二つ目は、「兜！」と言ったら、赤兜のもとへ行く作戦。

三つ目は、陣を作る作戦で、陣は、一・五メートル間かくで作るということだった。そして、それで戦ってみると、すごく長い間生き残れた。そのときの気持ちは、なんだかわからないものだった。二戦目には、長くならみ合いが続いた。三戦目、ついに子ども大将戦になった。そこで、僕らの乱舞は続き、残り人数が六人ほどになってしまい、なんとか生きのびたが、やられてしまった。四戦目になって、やっとわかった。この気持ちは、このチームが、つないで、つむいで、取った、このチームにしかない気持ちなんだと。四戦目は、最後にサンドがすごい速さで走って、終わった。だが、結果は三位。でも、僕にとっては、一番楽しかった三位だった。

サムライの国



私の母は、奈良県の和菓子屋の3人姉妹の末っ子として育ちました。両親は仕事に忙しく、2人の姉とお寺で暗くなるまで遊んでいました。保育士をしていたのですが、27歳で出産とともに退職。そのことを私は「途中で諦めさせられて可哀そう」とずっと思っていたのですが、今回改めて聞いてみたら、「子育ては幸せだったし、私の人生は幸せだった」と言い切りました。|| 塚本衣里・かっしー



こんげつ  
今月のレインボータイム

お がみ  
【おもてうら折り紙パズル】

お がみ き ちり紙を切ってピースを作り、くみあわせて模様を作りました。

この折り紙は、お がみ おもてめん うらめん いろ ちがいます。

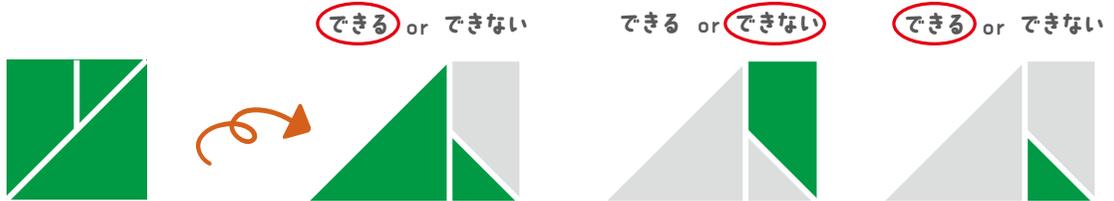
ひだり てほんどお き 左のお手本通りに切ったピースで、みぎの模様はできるでしょうか。

さかたしやう はな がくしゆかい  
出題：坂田翔 (花まる学習会)



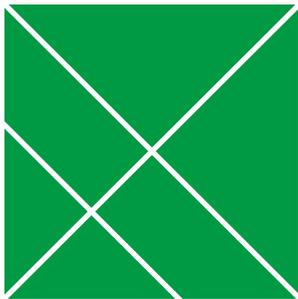
かいとう  
解答はこちら！

かんがえかた



レベル30

できる or できない



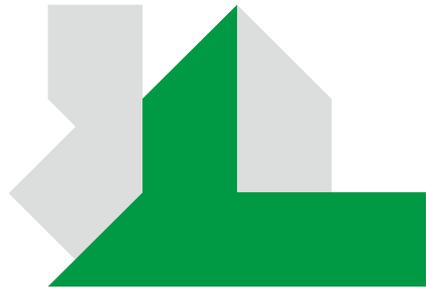
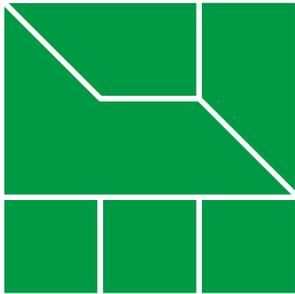
レベル50

できる or できない



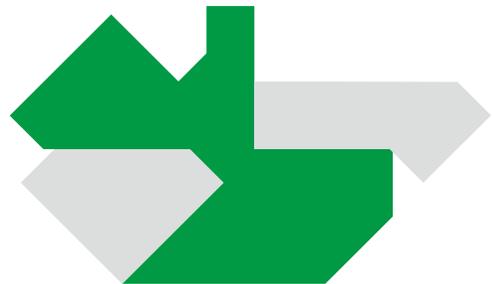
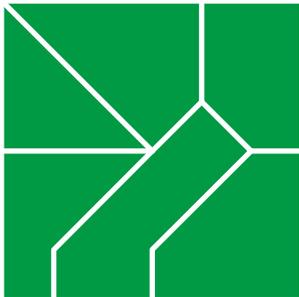
レベル70

できる or できない



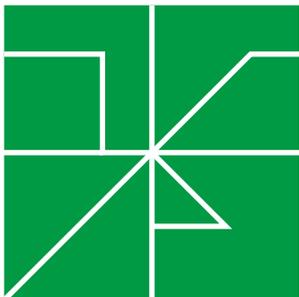
レベル99

できる or できない



スペシャル

できる or できない



# 論理 × カードゲーム



# 論理 × 図形センス



花まる学習会  
がアルゴクラブの元祖教室!

## 数理教室 ALGO CLUB

あそびとしか思えない空間で論理的思考力を鍛える



# 論理 × コミュニケーション



2024・2025年度生  
年長・小学1~6年生

※開講学年は教室により異なります

## 体験申込 受付中!

アルゴクラブHP <https://www.hanamarugroup.jp/algo/>



### 対面教室



#### 目の前の仲間と真剣勝負

個人で記録を目指すだけでなく、目の前の仲間と協力したり、競い合ったりしながら、臨場感あふれる雰囲気の中で思考体験を積み重ねます。アルゴゲームでは、本気で考え抜く楽しさを感じながら、手に汗握る真剣勝負の醍醐味を味わえます。

### オンライン教室



#### 安心して没頭できる

ご自宅などリラックスできる空間で問題に没頭しつつ、グループビデオ通話で仲間と交流しながらご参加いただけます。花まる学習会が独自開発したオンライン授業システムで、対面さながらの臨場感と緊張感を味わえるアルゴゲームを楽しめます。



私の母は島根県生まれ。3姉妹の末っ子でした。父親（私の祖父）は漁師で、夜中に船を出し朝方帰る、昼から酒を飲んでいる生活でした。母もよくウチを木箱に入れる手伝いなどをしていたそうです。食べ物が良いせいか体がすごぶる丈夫で、落ち込んだことのない気の強い性格。結婚後、姑（私の祖母）とは喧嘩もあったのですが、決して負けたことのない親のメンタルでした。 | 山本志保・あんころもち

# 無人島

職人の



「花まる子ども冒険島」開拓のため、カトパンに続いて広島に引っ越した職人。港がある安芸津町に新たな拠点もでき、ますます力が入ります。そんな2人の日々を、現地からレポートします。

薪割りの健

いつだったか、立派な孟宗竹が島に流れ着いた。10m近くはあるのかという大物である。広島海に無数に浮かぶ牡蠣筏の一部が何かの拍子に壊れて流されてきたのだろう。浜辺にはさまさまなものが漂着するが、これはめったにない出物だぜ、ということでエッサホイサと島に運び上げておいた。

それからしばらくが経った、ある夏のコースでのことだ。火おこしに必要な焚き付けを使い果たしてしまい、薪割りをするようになった。普通の木でもいいのだが、竹は油分が多いので特に優秀な焚き付けになる。そのうえ繊維が縦に揃っているのでも割りやすい（ちなみに、竹を割ると「竹を割ったような」という表現が実感できる）。そんなわけで、この前の孟宗竹を割ってもらおうじゃないか、ということになった。

そこで名乗りを上げたのが、ある6年生の男の子である。寡黙な少年で、薪割り経験がないにもかかわらず、いかにも薪を割っていきそうな雰囲気です出ていた。この歳にして高倉健が醸し出すようなオーラの片鱗が見える。たとえ不器用でもかまわないと思つた私は、健（仮名）に薪割りを任せることにし、レクチャーを行った。別に不器用ではなかった。

孟宗竹の端をノコギリで40cmほどの長さに切り出して鉈をあてがい、軽く叩くと刃が少し竹に食い込む。そのまま鉈を振り下ろすと、カツ、と竹は小気味よく真つ二つに割れる。あとはそれを繰り返す。2つを4つに、4つを8つに。親指くらいの幅になるまでどんどん割っていく。そうすると一山の焚き付けができあがる。

それからずっと健は竹を割り続けた。みんなが釣りやっている間も、ほかの作業をしている間も、それに誘われてもおかまいなしに一人で割り続けた。竹は根元に近づくほど太くなっていくため割るのが難しくなっていくが、そんなことは意に介さない様子だった。そばを通るたびに竹の全長が短くなっているのがわかる。すでにカゴ一杯に十分な焚き付けがたまっていたが、それでも健は竹を割り続けた。最初は「よほど気に入ったんだな」という感じで見ていたが、次第に「ここまで続けるんだらう」と気になってきて、そのうちに「全部割っちゃうんじゃないか」とまわりがざわついてきた。そしてとうとう、健が最後の1本を手にしたときには全員が固唾を呑んでそのときを見守っていた。

優に数百回は繰り返されたであろう動きによって手つきは洗練されていた。スコン、と最後の一片が割られた瞬間、

周囲から拍手と歓声が湧き起こり、そこで初めて健は照れたように控えめに笑つた。お前は本当に高倉健か。いい笑顔だった。

ひとしきり偉業を讃えたあと、みんなは元の活動に戻った。健はどうしたか。健は、叩きすぎて割れてしまった薪割り台を割りはじめた。フルマラソンのゴールテープを切ると、そのまま走り去っていったのだった。

(おわり)

花まる学習会 橋本一馬



薪を割り過ぎて、割れてしまった台。このあと、これも薪にしまった。

無人島企画や最近の様子を配信中！ぜひ登録してね！



花まる子ども冒険島公式LINE

カトパン 加藤 崇彰

花まる学習会 無人島プロジェクト典任者。学生時代から、花まるの野外体験に深くかかわってきた。現在は広島県へ移り住み、オンライン教室の教室長を務めながら、開拓団の受け入れや無人島開拓の準備を進めている。



職人 橋本 一馬

花まる学習会神奈川東北ブロック教室長。前職が家具職人だった経歴から「職人」のミドルネームを持つ。家具製作技能士、狩猟免許、プッシュクラフトアドバイザーなど、ちよつと変わった資格や経歴を活かし、「メシが食える大人」に独自の視点でアプローチを行うことが好き。広島で2年間無人島開拓に携つたのち、現在は神奈川でキャンプ教室を企画中。



これまでの開拓記はこちら！



## Rinせんせいより

そうとくん (愛知県)

今回は、そうとくとんとたいがくん、お城好きの2人が偶然にも同時期に出品してくれたので、一緒に掲載してみました😊

🏠 お城が好きすぎて、  
櫓や狭間を作りました。



そうとくんの、立体的な櫓や狭間（攻撃のための小さな穴の部分）、そしてお堀までもが、建築家の作る3D模型のようにできあがっていて細部へのこだわりも、お城への愛も感じます。

お城への熱い想い、熱量、興味関心の高さが2人の作品からうかがえます。このまま、好きを形にして楽しんでいってね。

たいがくん (神奈川県)



🏠 旅行で訪れた大阪城に興味を持ち、描けて嬉しいです。その後もお城や歴史に興味があります。戦国時代を深掘りするぞ！

そしてたいがくんの大阪城の絵は、下からお城をながめる人たちの様子もともに描いたことから、その大きさに圧倒されている作者の思いが伝わってくるものになりました。



「あなたは どうしたい？」  
自分のころに 向き合った  
子どもたちの 作品展です。



## Rinせんせいより

そしてこちらも、奇遇にも水中の生き物たちがテーマの絵を描いてくれた2人を紹介します😊

🏠 むり絵が好きでいつも丁寧に塗り、配色にまでこだわりました。最近オリジナルの絵も描くようになり、今回は頭のなかの海の風景を描いてくれました。「この魚は〇〇色。海も色鉛筆で塗る！」などこだわりを見せ、完成したあとは半分くらいの長さになった青と水色の色鉛筆を得意げに見せてくれました。



りょうたくん (神奈川県)

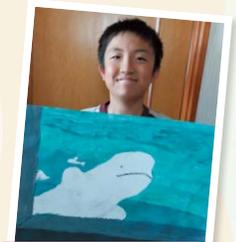
りょうたくんは、色鉛筆を使って丁寧な筆致で水を描いています。塗っているときの息づかいまでもが聞こえてくるよう。海の生き物たちがそれぞれの距離感を保ちながら共存している様子が、りょうたくんの持つ世界観を表しているのかもしれない。



🏠 いつもは漫画家を目指してイラストを練習したり、漫画を描いたりしているゆうやですが、普段使わない絵の具で、夏の思い出を描くことに挑戦しました。水族館で見たベルーガを大きく目立つように描くことにこだわり、奥行きを表現するため濃淡を工夫したりして真剣に描く姿が見られ、完成したときの満足げな顔が印象的でした。



その皮膚のしなやかさまでもが触感に伝わってくるかのよう。濃淡を工夫して奥行きを感じられるようにしたことで水族館らしさが出ていて、うなされました。



ゆうやくん (神奈川県)

## 今月のARTレシピ

## 『フェルト de アート』

みんなの  
おうちART作品を  
待っています！

- ・レシピ部門
- ・じゆう部門

Rinせんせいに  
おくってみよう！



Rinせんせいが  
つくってみたいよ！



今回は、ハサミで切ってもほつれない素材、フェルトを題材に選びました。なんといっても、手触りからインスパイアされてイメージが膨らんでいくのがこの素材のおもしろさ。簡単に加工ができるので、創作の自由度が高く、Atelier for Kidsでも人気の創作テーマです。ダンボールとの相性もいので、支持体として使って貼っていくのもおもしろいですよ。布を切ったことのない場合は、ハサミが切れやすいかどうか、チェックしておくことをお勧めします。先っちょのほうで切ろうとすると、布はテキメンに切れにくくなったりと、(結果として)ハサミの使い方の練習になる課題も隠れています。動画は2本あり、数種類の創作提案をしているので、ぜひ参考にして遊んでみてくださいね。

<https://youtu.be/zc7GqkrJbJM>

つくり方を  
動画で  
見てみよう

じゅんびするもの

- ・フェルト
  - ・ハサミ
  - ・ボンド
- (100円均一でも購入可能)

こころと頭を  
同時に伸ばす  
幼児期の子育て

## Rinコラム

62

### 自分の意思で 自分の心を満たす

解放していきます。  
子どもたちは作品が「できた!」と思っ  
た瞬間、誇らしげな表情で親の姿をキョロ  
キョロと探します。

「え! もう終わりなの?」「それだけ?」  
「色は? 塗らないの?」もしもそんな言  
葉が聞こえてきたら、私は彼らに変わって  
その作品の良さを、言葉にして伝えるよう  
にしています。

「ういう人間か」という根本的な信念を「中  
核信念」といいます。「自分は大切にされ  
ている」「自分には価値がある」という  
ポジティブな意識を持っているか、それ  
とも「自分の考えには価値がない」と思  
い込んでいるかどうかは、人生の局面で  
「きつと自分ならできる」と信じるか、「自  
分なんかどうせできない」と諦めるかほ  
どの違いを生み出します。

先日、OBの高校生が自発的にミニワー  
クショップの現場にお手伝いに来てくれま  
した。彼は小さな子どもたちに対して、ま  
ず「どうしたいの?」とその子の意見を尊  
重し、手助けをしていました。「こうした  
ほうがいいよ」でも「貸して、お兄ちゃん  
がやってあげるから」でもなく。

作者が自分の表現を大切にできるように  
手助けする。そこには、子どもたちの自己  
表現を支えようとする姿勢がありました。

ある子は水色のペンで背景を真剣な面持  
ちで塗り続け、また別の子は紙を切ったり  
折ったりして、立体的な形を作ることにも  
折りました。

ただひたすら創作の時間を楽しめるよう  
に。自由な空間を守ること、子どもたち  
は自分との対話を深め、没頭していきます。  
私たちはそのプロセスを否定せず、応援す  
るだけです。

「あなたらしさ」を表現してもいいとわ  
かると、子どもたちは生き生きとし、心を

作品をよく観察すると、その子が「美し  
い」と感じたわけ、「そうしたい」という  
理由が必ず隠れているからです。試行錯誤  
の片鱗も見えてきます。その子らしさが全  
面に見える場合もあります。

普段 Atelier for KIDs に通ってくださっ  
ている保護者の方々は、「ここが浮き出  
ていて素敵」「読書が好きだからこの形にし  
たんだ」と、その子の工夫や大切にしてい  
る部分を見つけ共感してくださって  
ました。

「黒一色がいいと思ったんだね」「まるで  
書道みたい!」「勢いがあって好き」。授業  
で鑑賞会をするときは、そんなふうな作品  
に対してどんなところがいいなと感じるの  
か、自分の心に聞いてから言葉にして伝え  
あいます。

「自分の思いや表現が尊重される」。そ  
れは他人の意思ではなく、自分の意思で、  
自分の心を満たすことであり、その経験  
に大きな価値があるのです。そして、彼  
らの表現を尊重し、支えて見守り応援す  
ることは、きつと私たち大人の役割でしょ  
う。

その経験の積み重ねが、きつとOBの彼  
がちびっ子アーティストにしてくれた対応  
につながっていたのでしょうか。

それは、彼自身がかつてそのように尊重  
されてきた経験から培われたもの。  
私たちのが無意識に持っている「自分はど

私たちが無意識に持っている「自分はど

Rin (井岡由実)

## Atelier for KIDs



全国から  
参加可能!

お申し込みは  
こちら

### おうちアトリエコース

素材セットとおたよりがご自宅  
に届き、「Rin せんせいがつくって  
みたよ動画」を見て、好きな  
タイミングで制作をします。

Zoom (授業日の午後)またはLINE  
公式アカウントのやりとりにて、  
鑑賞会も行います。

詳しくはHPをご覧ください。

参加費: 1名2,500円 (送料・税込)

申込締切: 12/4 (水) 19:00

### Rin (井岡由実)

花まる学習会取締役、「ARTのとびら」主宰。児童精神科医の稲垣孝氏とともに、心を病んだ青年たちへの専門的な対応に専心。花まる学習会年々・年長向け教材開発に携わり、冊子「1年生になる前に」では、幼児期に伸ばしたい能力や感性の教育について論じる。著書に『こころと頭を同時に伸ばす AI時代の子育て』(実務教育出版)ほか。

RinせんせいのSNSなど  
すべてのリンクは  
こちらから▶



12/15 (日) 10:30 ~ 12:00 毛糸de アート

#### 【対面コース】

対象 年長~中学生  
定員 30名 (予定) (お茶の水花まるラウンジにて)  
参加費 1名3,500円 (税込)  
申込締切 12/4 (水) 19:00

<https://www.hanamarugroup.jp/art-edu/news.php>



40

勝谷里美

花まる学習会の教室長を担当しながら、花まる学習会や公立小学校向けの教材開発や、書籍出版に携わる。現在は、小4・小2・2歳児の母として子育てに奮闘中。著書に『東大脳ドリルこくご伝える力編』『東大脳ドリルかんじ初級』『東大脳ドリルさんすう初級』（学研プラス）ほか



## 比較のグラデーションと、「おもしろがる」精神

もうすぐ3歳の次女R。保育園の担任は、現在小学4年生の長女も担当してくれていた先生。

ある日、登園時に「昨日、Rちゃん、かわいかったんですよ。けっこう口答えするじゃないですか。だから、お姉ちゃんはそのことしなかったよ。お姉ちゃんに言っちゃおうかな、と言ったらやはい、という感じでしゅんとして」と、ニコニコ笑顔で、クラスでの様子を教えてくださいました。

これに対して「きょうだい比較をしてはいけない」という子育ての正論とらえることもできるのだが、私はそれを聞いて、マイナスな感情はまったくなく、「あーやっぱり！想像がつかない。クラスでの様子を教えてくださいました」という気持ちで、一緒に爆笑してしまっただけ（未っ子R、本当に口答えが多いもので……）。

こういう仕事をしているからというのもあるが、「子育ては比べちゃいけない、比べちゃいけない」と、窮屈に考えすぎているかともいう気があった。

「比較はしない」が正論で、それは本質。ただ、「比較する」「比較しない」を両極においたときに、その間にはグラデーションがあってもいい。「比較しない」＝まっしろのところに位置づけられるとしたら、「比較する」＝真っ黒の、あいだのグラデーション。

「わが家の場合」ではあるが、この3歳という幼児の特性「忘れやすい」時期に、信頼をおいている先生から、からっと比較してもらおうのも貴重な機会だなあと思う。どんなに比較しない子育てを意識したところで、世の中に出たときに比較はあふれている。比較される経験だって、親にとっても子どもにとっても、とらえ方次第できつと肥やしにしていけるだろう。

同じ比較でも、からっと短く、いい意味で違いをおもしろがって楽観的に比較するのと、じめじめ長く悲観的に比較するのでは全然違う。

「いい意味で違いをおもしろがる」の、「おもしろがる」もポイントだと思っ

ある日の自分の子育てメモに、「自分がまわりを（家族を）笑わせにいけないぐらいエネルギーに満ちていたら、たいていのことは大丈夫そう」と書いていた。「相手を笑わせる・楽しませる」というのは、最高の愛情表現の一つなのだと思っ

「おもしろがる」も、それに通じるものがある。子どもと一緒に、世の中を「おもしろがる」。子どもを観察して、その子ならではの個性を「おもしろがる」。不機嫌なわが子を目の前にしても、邪険にせず、「おもしろがって」笑わせにい

「そんなことできるか!!」「といつぐらいエネルギー

ギー不足の日々も、もちろんあるけれど。自分のエネルギーを充電することを大切にしながら、余力があるときは「おもしろがる」精神を忘れないようにしたいと思っ

花まる学習会 勝谷里美



『中学入試対応 もってツッコミ! 理科』  
高濱正伸 監修  
江上修 著  
(永岡書店)

問題のどこかがボケていて間違いのある「ボケ問」に対して正しいツッコミを入れながら読み進める、新しい形の問題集、待望の第2弾! マンガを読む→ボケ問を考える→解説で理解を深める→類似問題(中学入試過去問題)という構成。小学校高学年向けですが、こんな学び方もあるのだな、という気づきを大人にも与えてくれる1冊です。



『大ピンちずかん』  
鈴木のりたけ 作  
(小学館)

小2の長男が大好き! 「ああ、もうダメだ。おわった。これは大ピンちだ!」という場面とその対処法がたくさん紹介されています。個人的には、「紙パックのなかに入ストローが全部入ってしまったとき」の対処法が目から鱗でした。ピンチでも「おもしろがる」精神は、大人になっても役立ちそうです。



『クリスティーナとおおきなはこ』  
パトリシア・リー・ゴーチ 作  
ドリス・バーン 絵  
おひか ゆうこ 訳  
(偕成社)

40年以上前にアメリカで刊行された絵本。何かを作るのが好きな子はもちろん、ごっこ遊びが好きな子、きょうだいの下の子に何かを壊された経験のある子など、すべての子に読んでほしい内容です。何が起きても、一貫して「おもしろがって」何かを作り出していくクリスティーナの姿に憧れます。

私の母は会社を経営する父(私の祖父)と母(私の祖母)と姉という環境で育ちました。「跡継ぎ」の姉が大事にされた一方、母は自由放任でいられました。やりたいお古物もすべて(ピアノやお料理教室等)やらせてくれたのですが、週3回通うほど熱中した編み物は、先生をやるまでになりました。3人きょうだいの長子長男として育った父のワガママを愛し受け止めてくれたおかげで、いまも終始2人で旅行する仲良しです。| 田中涼子・みるこ

Tatsuki  
相澤 樹  
Aizawa

## わが家の花漢奮闘記

4月号に掲載された「花まるパパ社員」のわが家の自由研究「コラム」がありがたいことにご好評をいただきました。多くの方から「先生のおうちもわが家と一緒に安心してました!」というご意見をいただいたり、以前の教え子のお母さまから「花まるの先生方がずっと外の師匠でいてくださり感謝です」とわざわざご連絡をいただいたり。等身大の子育てをさらけ出したコラムですが、共感をいただいたことは嬉しい限りです。一つ大きな理由があるとしたら、わが子も花まるに通っているからこそ、会員保護者のみなさまと同じ悩みを共有できるということもあるのかなと思います。

さて、今回は花まるに子を預ける親として、悩み深い「花まる漢字テスト」を自由研究のテーマとしてみます。

いまは2年生になった娘、漢字の練習は「当然やるもの」として受け入れていますので「言われれば」渋々やる程度にはなりましたが、1年生の1学期、初めての花漢に向けた1か月間はなかなかの修羅場でした。

花まる学習会の方針として「漢字だけは先取りOK。泣いてもわめいてもやらせていい」と標榜しており、わが家でも「最初の花漢こそ大事!」と気合いを入れてカタカナ、漢字を中心に練習を重ねていきました。初めのうちこそ、和やかに練習をしていましたが、H-I-Tが近づくとつれ、日に日に妻と娘が険悪になっていきます。

「あの子、何度言ったらバランスよく書けるの?」と語調強く詰める妻の様子をたびたび目にして、涙目になる娘の姿を見ていました。妻がそう言いたくなる気持ちもよくわかるけれど「漢字なんてもう大嫌い!」となる日も近そうだな……と不安を覚えました。

かといって、頑張っただけでいる妻に「もう少し伝え方を……」と指摘するのは角が立つし……。いろいろと考えた結果、妻が授業で帰りが遅い水曜日と日曜日は私が一緒に練習をするという、何のひねりもない当たり前の結論に帰着しました。

「パパはママとは違うよ。めちゃくちゃ楽しく教えてあげるから!」と意気込んだのも束の間。「こんなにいら立つのか!」と気づくまでに10分と要しませんでした。

たとえば「貝」という漢字のバランスが非常に悪かったので「上が大きくて下が小さいんだよ」と教えていると、それが気に食わないらしく「いいんだよ!」だって、ママにそう教わったもん!」と言い張り、言うことを聞かず。「貝」だか「見」だかわからない中途半端な字を書き続ける娘。「じゃあ、見てごらん」と漢字ポケット辞典と一緒に調べると、私の言う通りだったことに渋々納得して、無言でノートに書きはじめるのですが……。十分バランスも整って書けていることを確認し「上手に書けるようになったね!」と伝えても、娘は完全無視を決め込み、これみよがしに、書いた字を何度も消して書き

直すのです。「もっ、いいよ。きれいだよ!!」と伝えても無視。(……はい。カッチーン。)

「そんな態度でやるんだつたら、もう二度とパパは教えません! 勝手にしなさい!!」とただでさえ漢字アレルギーが見え隠れする娘にとどめを刺すかのごとく突き放しの言葉が口をつきました。どうしてこうも上手くいかないのでしょうか……。

その夜、妻と漢字練習の方針について話しあいました。これが意外とポイントだったかもしれません。自身も実際に教えてみて、妻がいら立つ理由を十分に理解しているから前提として感謝の気持ちが湧き上がります。お互いに同じ方向を見て同じように困ったからこそ、感情的にならずに話しあえたのかと思います。ここまでは悪い雰囲気になるくらいならば、とりあえず漢字の練習は横において、しばらくはカタカナの練習を中心に進めていこうと相談して決めました。

妻がノートにひらがなで文章を書いてその文章をすべてカタカナに直すという練習法をとったのですが、その内容がふるっていたことでだいぶ空気が和らぎます。

「ままだのんちゃんのことかだいすきです」とか、娘の好物の「きゃべつ」ぶをつくってあげるね」など、文章自体を読むだけでハッピーな気持ちになれるような仕掛けを打ったのです。この辺はさすがに教室長を長年やっているだけあるなと妙に感心しました(妻もこのコラムを読むので少しだけ持ち上げさせてください)。さらにノートに付箋をつけて「じかかんがあったらやってみてね」と書き残したことで、娘にとっては強制感や圧迫感が薄れたようです。私たちは直接見て教える時間を減らし、〇つけと付箋へのメッセージに残しに特化したことが奏功したようです。

そして何よりも「この件でこれ以上疲れたくない……!」というのが本音で、多少なりとも回目的花漢での合格に対して諦めがあったことが、圧力を緩められた一つの要因だったかもしれません。

しかし、いかにいままでも花漢の練習に付き添っていたでいる親御さんの大変さを理解せずに「漢字は泣いてもわめいても」と練習を推奨してきていたことが、実際に当事者となり、泣いて、ふてくされる姿を見ると感情的になつてしまうことはよくわかり、改めて感謝の念を抱きました。

とはいえ、大変ですが……学年で習得するべき漢字は最低限身につけておかせたいところですよ。

いま「漢字って覚える必要あるの? もうキーボードを打ち込めば出てくるのだからいいんじゃない?」という子が増えています。確かに「書く」ということにおいてはそういう場面は増えていくことでしょう。でも、熟語で使われている漢字の意味から文章を読み取ることは、たとえば問題を解く場面だけではなく、本を読むときにも内容を深く理解するために必要なスキルです。少なくとも情報を読み取るためには漢字は避けは通れないでしょうし、何よりも漢字をスラスラと読めれば多くの知識を得られますし、書ければ豊かな表現力が身につくことは間違いありません。

花漢は学期に一度の定期的な親子への負荷ではありませんが、負荷があつてこそ親も子も学び育つものです。わが家もずっけたり、落ち込んだりしながら一歩一歩進んでいきます。

これからも一緒に頑張っていきたいと思います!

花まる学習会 相澤樹



～ 2024年、アートの秋～



『えをかかかくかく』  
エリック・カール 作  
アーサー・ビナード 訳  
(偕成社)

青い馬や赤いワニ、黄色い牛、水玉模様  
のロバ、オレンジ色のゾウ……。絵筆を  
もった男の子が描き出すのは、先入観にとらわれずに自由な心  
で生み出されたものたち。自分にとっての真実＝本当の色を探  
し続けるおもしろさと喜びを伝える傑作絵本。2021年に急逝し  
た作者の少年期、自由に絵を描くことが禁じられていたナチス  
政権下での実体験がもともになっています。



『アドリブ』  
佐藤まどか 著  
(あすなろ書房)

イタリアの難関音楽院に通う日本人少年・  
ユージと、彼が出会うたくさんの人たちが、  
経験するさまざまな出来事を描いた物語。  
音楽の世界の美しさや奥深さ、難しさ、厳  
しさ——。ユージがフルートに魅かれるきっかけとなった、ラ  
ヴェル作曲のバレエ音楽『ダフニスとクロエ』など、物語を彩  
るさまざまな音楽にもぜひ注目を。



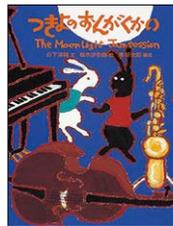
『世の中への扉  
ピアノはともだち  
奇跡のピアニスト 辻井伸行の秘密』  
こうやまのりお 著  
(講談社)

「ぼくには自然や芸術の美しさが心の眼  
で見える——。」現代を代表するピアニ  
スト辻井伸行さんは、なぜ世界的に評価さ  
れているのか？ 彼の音楽はどこから来るのか？ すべてのペー  
ジから音楽が聞こえてくるかのような珠玉のノンフィクション。  
読み終えたら、あなたもきっとこの世界の「美しいもの」にた  
くさん触れたいと思うはず。



『ガオ』  
田島征三 作  
(福音館書店)

ある日、大きな声で吠えた元気な山犬。  
すると体のなかの「元気」が外に出て  
巨大な鳥の形になり、ヘビの形になっ  
たもとの体を襲いはじめ……。全編にわたっ  
て、色とりどりの木の実を並べるだけで作られた異色のアート  
絵本。奇想天外、それでいてエネルギーにあふれた物語を通し  
て、自然の持つダイナミックさが感じられます。これからの秋  
の季節、実際に木の実を探して並べ、自分だけのお話を作りた  
くなくなること请け合いです。



『つきよのおんがくかい』  
山下洋輔 文  
柚木沙弥郎 絵  
秦好史郎 構成  
(福音館書店)

満月の夜に山に登ると、集まってき  
たのは楽器を手にした山の動物たち。そして突如始まる、ジャズ  
のセッション。ピアノ、ベース、サックス、ドラムの心地よい  
演奏に身をゆだね、ふと後ろを振り返ってみると……。日本を  
代表するジャズピアニストと染色家によるコラボ絵本。身も心  
も SWING しながら読んでください！



12月 **〈第8回〉「本×アート ～聖夜を彩るアートの世界～**

この冬、想像の翼を広げて目では見えなくても大切な、この世界の普遍的なことを考えてみませんか？ 古今東西のフ  
ァンタジーの名作や、それらと関連する多様なアート作品、世界のクリスマスや冬の情景も多数紹介。音楽教育のプロフェッ  
ショナルとの共演をお届けする、この時期を彩るさまざまな音楽も必聴！ 心温まる時間を期待ください。

12/12 (木)・12/14 (土) 10:30～12:00  
参加費 一家族 500円 (税込)  
申込締切 開催前日の 19:00

<https://www.schoolf.jp/extension/j-hiranuma/2024/>





久慈 菜津紀  
(ほっきー)

# 花まる こうしん

「そっかぁー！」で広がる世界

算数大会でのこと。悩んで悩んで、自分の考えをまとめられなかったものに対して、「なあんだ、そっかぁー！」と声をあげた子がいました。すると、「そっかぁー！」ってなんかいいね！ という空気が広まり、ちょっととしたブームに。わからなくてもいい、間違っても発見がある。「わからなくて折を見て伝えてきました、言葉で伝えるよりも自分で感じ取ったほうが、その意味をより実感できたようです。

算数大会が後半に差し掛かった頃、「できた」と「そっかぁー」がほとんどじゃんと、3年生のMくんが言いました。「たしかに」とまわりの子が続きます。「できた！」という喜びは、自分の自信に。「できた」と思えなかったものは「そっかぁー！」に。つまり、挑戦したものはどれもプ

スのもの。そう考えると、「そっかぁー！」はわからないことを受容する言葉でもあり、それによって「まだ知らない世界」に少し自分の色をつけはじめるきっかけとなるものでもあるかもしれません。

ちなみに、彼の言葉にある「ほとんど」というのは、考えても「そっかぁー」と思えないものもまだ世の中にあるのだろう、という彼なりの察しがあるからだろうか、す。

子どもたちといると、ふとしたときに

「こうしたほうがいいんじゃない？」と手を差し伸べたくなる時があります。「こうするとうまくいくよ」というのは、一見すると優しいようで、大人の経験を押しつけてしまっていたかもしれないけど、このときふと思いました。「うまく」の定義は大人からみた価値観であって、まだ見ぬ結果を先に伝えているようなもの。「やってみよう！」という実験の、一つの結果というシンプルなものであったはずのものが、成功と失敗があるものになっちゃったら、この先の挑戦が失敗したくないものになり、挑戦さえも恐れるようになってしまいかもかもしれません。目標を決めてコツコツ努力を重ねていく挑戦とは別の、はじめてやってみるものにおいては、成功でもなく失敗でもなく、「そっ

かぁー！」であるといいなと思います。

かつて理科の授業でやった濾過の実験。ほかの班よりも濾過がなかなか進まず、焦った班のメンバーが棒の先でつつくと、濾紙は破れてしまいました。「だから、絶対触るなよっていったのに……」という悲しそうな先生の一言は、「失敗」を印象づけるものでした。「どの班もうまくいってほしい」という先生の願いも感じつつ、いま思うとあれは実験ではなく教科書に記されている「実験」を実証する時間だったように感じます。

「思うようにいかなかったら、思うような結果が出るまでやればいい」という言葉に、そうだよなあと思得したことがあります。そう考えるとそもそも失敗という概念はないのですが、せわしない日々のなかで余裕がなかったり、一回の結果で落ち込んでしまったりして、もう一回「になかなか踏み出せないことも多いものです。(だからこそ、思うようにいかなかったことを失敗談として笑って話せる人は強いなあと思います。そのあとの「思うような結果が出るまでやりきった」という過程も含めて「経験」があるということ。その積み重ねが、その人らしさになつていくのでしょうか。)

大人になって、いつのまにか先が見通せることも、イメージできることも増えました。それは、それを支える経験を重ねてきた証でもあります。しかし、そのぶん、「きつとうまくいかない」「これをやり始めたら大変そう」ということへのアンテナは敏感になり、「どうなるかなあ」よりも、「こうなってほしいなあ」と思いながら過ごすことが多くなったようにも感じます。もしかすると、知らず知らずのうちに新しい出来事との出会いも少なくなっていたのかもかもしれません。自分で「そっかぁー！」から遠ざかっていたなあと思し寂しく思いました。

子どもたちが過すこれからの未来が、「そっかぁー！」であふれる日々でありますように。

花まる学習会 久慈菜津紀





花まるの  
教室長を  
紹介します!

# Hanamaru Family 花まるファミリー



オンライン
 アルコ
 みんなビレッジ
 無人島
 スクールFC
 アノネ音楽教室
 Hanaspo

みんなの教室長も順番に紹介するよ。お楽しみに!



あらいせい たらう  
**新井 征太郎**

埼玉 東京都



いはら けんた  
**伊原 健太**

関西 大阪府



かとう やくも  
**加藤 八雲**

東京東 東京都



かわしま ことね  
**川島 琴音**

埼玉 埼玉県



さかくち とおる  
**坂口 徹**

中京 熊本県



しまむら ゆか  
**島村 有香**

埼玉 埼玉県



すずき かずあき  
**鈴木 和明**

関西 静岡県



つだ なぎさ  
**津田 渚沙**

東京西 東京都



とよだ はじめ  
**豊田 元**

神奈川南 大阪府



なかやま しょうた  
**中山 翔太**

東京東 埼玉県



はしもと かずま  
**橋本 一馬**

神奈川北 東京南 埼玉県



まえはら まさき  
**前原 匡樹**

オンライン 鹿児島県



みやざき かすみ  
**宮崎 香純**

埼玉 東京都



たかはま まさのぶ  
**高濱 正伸**

○○○ 熊本県

..... リーダーネーム

..... 名前

..... 所属

..... 出身地

サマースクールや雪国スクールで会おうね!

11月の誕生花は **シクラメン**



母はちょっとハイカラな文房具屋を営む両親の元、姉と弟に挟まれて育ちました。「これからは女も手に職を」「教師は男女格差がない」という祖母のアドバイスで小学校の先生に。離婚再婚を経て、働きながら2人の子を育てました。父曰く「母さんの良いところは真面目で一所懸命なところ」です。| 松浦加奈・おゆる